

第 7 回 JBG トライアルカップ[®]（障害）

実施要項

1. 大会名： 第 7 回 JBG トライアルカップ
2. 主催： 一般社団法人 日本社会人団体馬術連盟
3. 開催日： 令和 8 年 3 月 21 日(土)～22 日(日)
4. 開催場所： JRA 馬事公苑（東京都世田谷区上用賀 2-1-1）
5. 競技種目： 小障害飛越競技（60cm、80cm）
6. 出場資格
 - (1) 小障害飛越競技（60cm）は、日本社会人団体馬術連盟 騎乗者資格 C グレード以上の保有者であり、各団体の責任において出場して問題ないレベルであると認めた部員とする。
小障害飛越競技（80cm）は、日本社会人団体馬術連盟 騎乗者資格 B グレード以上の保有者であり、各団体の責任において出場して問題ないレベルであると認めた部員とする。
 - (2) 全日本社会人馬術選手権大会、JBG 選手権シリーズ、実業団戦等に出場歴のある方については、主催者の判断によりオープン参加扱いとすることがある。
 - (3) 馬匹の馬装および手入れを問題なく行えること。
 - (4) 何らかの傷害保険に加入していること。
7. 競技形式
 - (1) 競技方法
競技規定は、日本馬術連盟競技会規程の最新版を採用する。3 反抗失権とし、基準タイムおよび早着減点の設定など一部ローカルルールを採用する。使用予定馬が故障などにより使用不能となった場合、競技前・協議中を問わず、予備馬による再走行を行う。ただし、馬匹の故障が選手に起因すると主催者が判断した場合には、当該選手の再走行を認めない場合ことがある。本大会は初心者向けクラスとして実施するため、安全確保を目的に、主催者の許可を得た指導者 1 名に限り、競技場内への入場を認める。
 1. 主催者が事前に割り当てた馬匹に騎乗してコースを走行し、その成績によって勝敗を決する。
 2. コースは、以下の構成とする
60cm クラスは高さ 60cm までの単一の垂直障害で構成する。
80cm クラスは高さ 80cm までの単一障害、もしくは幅 100 c m までのオクサー障害で構成する。
 3. 60cm クラス、80cm クラスそれぞれにおいて、第 1 日目および第 2 日目の両日に出場した選手の合計成績により、「トライアルカップチャンピオン」を決定する。
 - (2) 順位の決定方法
 - ①各日各クラス
 1. 減点の少ない者を上位とする。
 2. 減点と同点の場合は、走行タイムの基準タイムとの差の絶対値が少ない者を上位とする。
 3. 以上で決まらない場合は、同位とする。

②トライアルカップチャンピオン

本項の順位決定は、60cm クラス、80cm クラスそれぞれについて、以下の基準により行う。

1. 2 日間の順位合計が少ない者を上位とする。
2. 順位合計が同点の場合は、2 日間の総減点が少ない者を上位とする。
3. 総減点が同点の場合は、2 日間の走行タイムの基準タイムとの差の絶対値が少ない者を上位とする。
4. 以上で決まらない場合は、同位とする。

8. 表彰

- (1) 各クラスそれぞれ、上位 3 名を表彰する。
- (2) トライアルカップチャンピオンは、上位 3 名を表彰する。

9. 注意事項

- (1) 参加者・馬取扱者・観覧者の事故および疾病について、主催者は応急処置を行うが、その責任は負わない。また、出場選手は何らかの傷害保険に加入していること。
- (2) 出場選手は技術の向上および事故防止に努めること。危険防止の観点から、主催者および審判団の協議に基づき、改善を指導する場合がある。
- (3) 出場者数、馬匹その他の理由により、やむを得ず本要項および日程等の一部を変更して実施する場合がある。競技の詳細については、当日の打ち合わせにおいて説明するので注意すること。
- (4) 準備運動は 3 分 2 飛越以内とする。飛越回数超過は失権とし、逆標旗飛越については都度罰金 3 万円を課す。
- (5) 服装は FEI 規定を適用し、出場者は必ず保護帽を着用すること。保護帽は、容易に脱落しないよう、恒久的に取り外しができない顎紐がシェル部に 3 点以上で固定されたものでなければならない。また、安全のため、エアバッグ式ベスト等のプロテクターの着用を義務付ける。
- (6) 拍車は丸または棒拍とする。馬匹提供団体および審判長の指示により、着用を認めない場合がある。
- (7) 審判長が認めた場合を除き、上記(5)(6)に違反した場合、失権とする。
- (8) 準備馬場および競技馬場において、馬のウェルフェアに反する行為が認められた場合は、審判長の裁定により、当該選手の走行を停止させることがある。
- (9) 競技の参加について、重複エントリーは認めるが、エントリー数が多い場合は、団体や参加者間で調整を行う場合がある。

以上